

# 日本学術会議 公開WEBシンポジウム

## 「基礎科学が導くSDGs達成への道 ～結晶&生命&技術革新～」

2023/5/27 (土)  
 13:00~16:40  
 Web開催

■ 開催形式：オンライン

■ 参加登録：(参加料無料)

\*どなたでもご参加いただけます。

\*事前参加登録をお願いします。

<https://forms.gle/AD1wG3GXUbFM8qze6>

(受付締め切り 5月20日(土))



国連総会において、2022年6月30日から1年間を、「持続可能な発展のための国際基礎科学年：The International Year of Basic Sciences for Sustainable Development (IYBSSD)」とすることが、2021年12月2日に決議されました。

「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成には、政治的もしくは経済的な取り組みが不可欠な課題と、基礎科学分野で積み上げてきた知識や技術抜きでは、問題解決・改善が図れない課題があります。

本シンポジウムは、国連「10人委員会」メンバーを2018から2020まで務められた中村道治氏(科学技術振興機構顧問)による、これまでのSDGs解決に向けた取組から得た教訓をもとに、2030年とその先に向けて、科学技術に求められていることを広い視点から議論する講演「SDGsが科学技術に求めること」から始まります。

これに続き、生命科学分野と物理・化学分野の研究者が、基礎科学の知見と技術のコラボレーションがもたらす最新の研究成果を紹介いたします。

皆さんは塩や雪の「結晶」はご存じだと思います。塩や雪に限らず、様々な物質の「結晶」を作ることができ、「結晶」の中で、原子や分子がどのような形で存在しているかが、物質の性質を決めていることがわかり、これを調べる基礎研究は、物質科学、材料科学、生命科学へと発展しました。

今回紹介する研究の多くは、この発展の過程で蓄積した知見や、開拓された技術の成果であり、SDGs達成へ向けた推進力ともなっています。

次の世代の方に、基礎科学という土台の広がりや、今後の展開について新たな視点から眺めていただくことを本シンポジウムの趣旨とします。

### ■プログラム (\*日本学術会議連携会員)

13:00 開会挨拶 中川 敦史 | 日本結晶学会会長、大阪大学蛋白質研究所教授

13:05 趣旨説明 菅原 洋子\* | 北里大学名誉教授

座長 上村みどり\* | CBI研究機構量子構造生命科学研究所所長

13:10 「SDGsが科学技術に求めること」

中村 道治 | 国連「10人委員会」メンバー (2018-2020)、中性子産業利用推進協議会副会長、国立研究開発法人科学技術振興機構名誉理事長

座長 山下敦子\* | 岡山大学大学院・教授

13:40 「エボラウイルスの細胞内増殖機構の解明」

野田 岳志\* | 京都大学医学生物学研究所教授

14:10 「クライオ電子顕微鏡によるCO<sub>2</sub>資源化酵素の構造解析と電子移動メカニズムの解明」

宮田 知子 | 大阪大学大学院生命機能研究科特任准教授

14:40 【休憩】

座長 阿久津典子\* | 大阪電気通信大学教授

14:50 「バイオ高分子素材が切り拓くSDGs」

沼田 圭司 | 京都大学大学院工学研究科教授

15:20 「化合物半導体結晶はいかに紡ぎ出されるのか

—超高真空中と細菌からと—そしてその応用展開」

富永 依里子\* | 日本学術会議若手アカデミー会員、広島大学大学院先進理工系科学研究科准教授

15:50 総合討論

進行：黒田 玲子\* | 中部大学先端研究センター特任教授

コメント：高田 昌樹\* | 東北大学多元物質科学研究所国際放射光イノベーション・スマート研究センター教授

16:35 閉会の辞 佐々木 園 | 日本学術会議第三部会員、京都工芸繊維大学教授